

おおだて 

令和5年11月1日 150号

市議会だより



「秋晴れの黄金田を疾走する貨物列車」

令和5年9月定例会 議案等の審議結果……▶	2
一般質問……▶	4
常任委員会から（行政視察）……▶	10
令和4年度決算特別委員会……▶	12
私もひ・と・こ・と……▶	14

9月定例会の主な議案等の審議結果



令和5年9月定例会は、8月28日から9月28日までの32日間の会期で開催されました。市長提出議案は、報告1件、専決処分の承認2件、条例案5件、単行案7件、予算案9件、決算の認定19件、その他17件など、合計60件でした。

ここでは、審議の結果の主なものをお知らせします。決算については12ページをご覧ください。

専決処分の承認

承認

認 第6号 令和5年度大館市一般会計補正予算（第5号）

認 第7号 令和5年度大館市一般会計補正予算（第6号）

条例案

原案
可決

議案第75号 大館市印鑑条例の一部を改正する条例案

議案第76号 大館市工場等設置促進条例の一部を改正する条例案

議案第77号 大館市駅なか交流センターに関する条例案

議案第78号 大館市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

議案第79号 大館市火災予防条例の一部を改正する条例案

単行案

原案
可決

議案第80号 大館市役所比内総合支所空調熱源設備改修工事の請負契約の締結について

議案第81号 財産の取得について（除雪グレーダ（4.0m級）1台）

議案第82号 市道路線の廃止について（下代野下町線外4路線）

議案第83号 市道路線の認定について（下代野下町線外3路線）

など

補正予算案

原案
可決

- 議案第84号 令和5年度大館市一般会計補正予算（第7号）案
- 議案第85号 令和5年度大館市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案
- 議案第86号 令和5年度大館市介護保険特別会計補正予算（第1号）案
- 議案第87号 令和5年度大館市戸別浄化槽整備事業特別会計補正予算（第1号）案
- 議案第88号 令和5年度大館市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）案
- 議案第89号 令和5年度大館市温泉開発特別会計補正予算（第1号）案
- 議案第90号 令和5年度大館市工業用水道事業特別会計補正予算（第2号）案
- 議案第91号 令和5年度大館市病院事業会計補正予算（第2号）案
- 議案第94号 令和5年度大館市一般会計補正予算（第8号）案

請願・陳情

採択

- 陳情第5号 消費者被害を防止、救済するため特定商取引法の抜本的法改正を求める陳情書

不採択

- 陳情第1号 国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情書

継続
審査

- 請願第1号 地方財政の充実・強化に関する意見書提出についての請願
- 請願第2号 大規模災害による農地・農産物等の継続的補償制度を国に求める請願書
- 陳情第3号 学校給食費の無償化を求める陳情書
- 陳情第4号 ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情について
- 陳情第6号 日本犬・秋田犬の保存・振興に寄与する広報の一環の実施について

—大館市議会から意見書を提出しました—

- 「森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書」
- 「消費者被害を防止、救済するため特定商取引法の抜本的改正を求める意見書」

有機農業推進で心身ともに健康なまちづくり

田村 儀光 議員（真政会）



〈問〉 今年6月「有機農業推進議員の会」創設の提案をし、22日に16名の賛同を得て発会した。生産された有機農産物を、まずは大館の未来を担う子どもたち（給食）へ提供すべきと思うが。

〔市長〕 国が策定した「みどりの食料システム戦略」では、有機農業を2050年までに100ヘクタールまで拡大する方針が示された。本市においても、アグリイノベーション事業の一環として、付加価値創出による「稼げる農業」の実現に向けて、水稲と山の芋の有機栽培実証に取り組んでいる。学校給食で地元産の有機農産物を提供することについては「食のふるさとキャリア教育」の観点からも推進したいと考えている。今後は、実証栽培により明確と

なった課題を踏まえ、ブランド力向上と収量の確保に取り組んでいく。

〈問〉 市長の公約4つの柱のひとつ、人材育成。議員の行政視察研修を増やすべきと思うが。

〔市長〕 私が選挙公約に掲げた「職員の人材育成」は、一人でも多くの次世代を担う職員を育て上げ、本市の未来を創造するシンクタンクをつくることを目指すものである。優れた人材を育成する上では、大館のフィールドから飛び出し、官民の

多様な立場の方々との意見交換など交流の機会をつくっていくことが重要と考えている。職員の行政視察研修については、新規事業立ち上げなどの際に都度実施しているほか、秋田県市長会の事業を活用して行っているが、限られた予算であることから、本市の枠は年間1、2件となっている。来年度からは市独自事業の新設を検討するとともに、研修に行きやすい職場環境の整備も併せて実施してまいりたい。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

ふるさと納税について

明石 宏康 議員（市民の風）



〈問〉 堅調に伸びている本市のふるさと納税。給食費や保育料、18歳以下の医療費の無償化などを行っている自治体もあるが、すごいなとかならやましいなと思った一方、確たる財源根拠のないままにやればいいと言いつつなしの質問は憤みだ。ただ、これから財源が見込めることを思えば、市民生活に直結する「目に見える使い道」は多くの市民の賛意を得るだろう。市長の熱意ある取り組みは周囲をけん引すると確信している。

〔市長〕 寄付額10億円達成は一つの通過点であり、その伸び代を引き出すためには、安定した返礼品の供給量確保といった課題もある。中間管理事業者である商工会議所やカメイ株式会社と解決策を探っているところだ。一方、寄付の使い道については、子どもの成長支援や、高齢者の生活支援や環境保全、観光振興な

ど、幅広い事業に活用させていただいている。市の施策実現の貴重な財源となる同制度の活用にも全力で取り組んでいる。

再犯防止推進計画について

〈問〉 刑法犯の件数は減っているが、再犯者の割合は増えている。再犯防止の考え方は安全で安心な社会を構築する上では欠かせない。資格取得や内職あっせん、生活困窮者支援や、高齢者や少年の相談など実に多岐にわたり全庁での対応が必要だ。差別や偏見なく立ち直りを地域と行政が支援する体制を求めたい。この取り組みは保護司の更生保護活動に酷似している。保護司の欠員補充への支援も同計画にあり心強い。

〔市長〕 本年度より5か年計画で取り組んでいる。再犯防止には生活の安定が不可欠であり、住居や収入を確保する支援を行った上で、地域社会の中で孤立することがないよう、相談相手としての寄り添いや、生活状況の見守りなどが必要であると考えている。保護司などの活動に対して必要な協力ができることが保護司法に定められており、関係機関と連携を図り、協力の在り方を検討したい。

ハラスメント根絶のため、大館市に「ハラスメント防止条例」の制定を

工藤 賢一 議員（市民の風）



〈問〉 親族や頼れる方が近くにいないため、将来の医療・介護のサービス利用や葬儀・埋葬などに不安を感じている単身世帯が増加して、支援するために「エンディングプランサポート事業」「終活情報登録伝達事業」の創設を。

〔市長〕 市では、市内7か所の地域包括支援センター及び成年後見支援センターにおいて、介護支援専門員や社会福祉士、保健師などの有資格者が生活全般の悩みや亡くなった後の心配事の相談に対応している。また「マイエンディングノート」をお渡ししており、終活の支援も行っている。

〈問〉 令和6年4月1日から相続登記が義務化される。所有者不明の土地対策、空き家対策を推進するための制度の周知を。

〔市長〕 法務局でホームページや

ポスター、パンフレットで周知しているほか、市においても空き家対策パンフレット、おくやみハンドブックにて相続手続きの周知をしている。今後は、ホームページや空き家対策セミナー、固定資産税納税通知書にチラシを同封するなどの方法で周知に努めたい。

〈問〉 労働施策総合推進法が改正され、地方公務員に対してもパワハラ防止の指針が示されている。令和5年7月現在、既に28の自治体でパワハラ防止条例が制定されており、大館市においてもハラスメント根絶のため条例を制定すべき。

〔市長〕 大館市では、平成11年にセクシャルハラスメント防止要綱を定め、23年にパワーハラスメントを追加したハラスメント防止要綱を策定している。令和4年にはさまざまなハラスメントに対応できるよう全面改定し、職員研修科目に「ハラスメント研修」を新たに加え、相談窓口やハラスメント苦情処理委員会を設置するなど体制を整えている。今後も随時要綱を見直しながら、ハラスメントを生じさせない職場環境づくりを進めてまいりたい。

一般質問の全文は、12月上旬に、市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

市長選・市議選時の選挙公報発行について 危険箇所早期改善について 災害時の対応について

今泉 まき子 議員（日本共産党）



〈問〉 県内13市のうち、市長選・市議選時、選挙公報を発行していないのは男鹿市・能代市・大館市の3市のみである。市民に広く政策を知ってもらうため、また、若者の投票率向上のためにも条例を定め発行するべきではないか。

〔市長〕 有権者が候補者の公約や政策を知る機会として、ポスター掲示、はがき頒布、新聞広告などがあるが、その後、インターネットやビラ頒布も解禁され、公約や政策を知る機会は増えてきている。選挙公報を発行するためには選挙管理委員会が条例で定める必要があるため、検討するよう市選挙管理委員会に伝える。

〈問〉 危険箇所の早期改善について

① 通学路の街灯まで伸びた雑木処理を。
② 消えた道路の白線引きを。
③ 市道の穴はすぐに対応を。

〔市長〕 ① 通学路の安全確保につ

いては毎年点検・調査を実施し、危険箇所の解消に取り組んでいる。指摘のあった箇所については土地所有者に枝払いをお願いしている。
② 各道路管理者や警察など、担当、管轄する所でそれぞれ適切な管理に努めている。
③ 路面補修については、市内を9ブロックに分割し、巡回と補修を業者へ委託している。今後は予防保全型の路面補修を適切に実施していく。

〈問〉 災害時の対応について

① 避難所の備蓄品は地域人口のどのくらいを対象として備蓄しているか。
② 災害時避難行動要支援者名簿の登録拡大と個別支援計画の作成はどこまで進んでいるか。
③ 福祉避難所の開設・運営の訓練はされているか。

〔市長〕 ① 秋田県地域防災計画に基づき、2分の1を県が、残りは県内25市町村が人口割に応じ、計画的に備蓄している。
② 昨年度から登録拡大に向けた取り組みを強化している。個別支援計画はモデル地区を選定してノウハウを積み上げているところである。
③ 市では全16か所を福祉避難所に指定している。社会福祉災害支援ネットワークでは、今年度10月に福祉避難所の開設も含めた訓練を実施する予定である。

ハチ公がつかないだ渋谷区との縁を形に

石田 健佑 議員（真政会）



〈問〉ハチ公がつかないだ渋谷事業者との縁を、地域活性化起業者（企業人材派遣制度）を活用して形にできないか。

〔市長〕8月の「ハチ公生誕100年フェスティバル」に合わせて行われた渋谷と大館の事業者間交流には、渋谷側から10社を超す参加があ



渋谷と大館の事業者間交流の様子

り、ともに手を組んで次のビジネスにつなげたいとの機運が高まったと聞いている。地域活性化起業者は、三大都市圏に所在する民間企業等の社員が、そのノウハウや知見を生かし、一定期間、地方自治体で地域の魅力や価値向上につながる業務に従事することができるとの制度である。自治体が起業者の受け入れに要する費用については一人当たり年間560万円を上限とする特別交付税措置があり、地方自治体と企業が協力して都市から地方への人の流れを創出できる。制度は民間的発想が求められる観光振興や地場産品の開発・販路拡大、ふるさと納税を活用した地域経済活性化などと親和性が高い。HACHI100プロジェクトを契機につなげた事業者との御縁を生かし、本市の産業振興につなげるべく、新商品の開発や販路開拓に向けた取り組みを進めている。

〈問〉市の地域活性化起業者の運用方針は。

〔市長〕これまで築いた渋谷との関係性を生かしつつ、市の政策に賛同する企業とウインウインの関係を構築できるようマッチングを図りたい。市が民間のスペシャリストと事業を進める中で、地域を活性化させるような革新的なビジネスモデル創出や、社内起業につながる可能性も秘めていることから、制度活用に向けて積極的に取り組むことを約束する。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

田代地域のバス路線再編 おてつたびの利用促進 移住希望者の職業紹介支援について

吉田 勇一郎 議員（令和会）



〈問〉田代地域のバス路線再編に伴うコミュニティバスの実証運行が始まるが、定員超過した場合、運行事業者によるタクシー車両での補完などの交通手段を提供できないか。

〔市長〕どのような対応が可能か、運行事業者と協議している。提案を先方に伝える。実証運行で利用者の意見を伺いながら改善を図り、田代地域における公共交通維持に取り組んでいく。

〈問〉アルバイトと旅を掛け合わせることで、人手不足の事業者に熱意のある働き手を紹介し、地域のフアンを増やす「おてつたび」の利用

を促進する構想はあるか。

〔市長〕関係人口創出事業のツールとして非常に効果的と捉えている。実際に募集した農業事業者からヒアリングを行った上で、利用を希望する他の事業者へ情報提供を進めていく。株式会社おてつたびとの連携を深めていく。

〈問〉移住希望者の仕事探しを支援するために、無料職業紹介所の認可を受けてはどうか。

〔市長〕移住希望者からの仕事の相談に対しては、国と市が一体となって就労支援することを目的に開設している活Jobおおだてや、移住・定住支援を行う地域おこし協力隊が対応しているが、相談者の満足度や移住への期待値を向上させるためにも、無料職業相談所開設に必要な資格取得を行い、ワンストップサービスの充実に努めたい。

歴史まちづくり事業で街はどう変化したか 野遊びSDGs事業が市民生活にもたらすものは何か 点在する観光資源をつなぐイベントの展望

秋元 貞一 議員（令和会）



〈問〉 市長就任時に開始した歴史まちづくり事業の当初目標の達成率と市民満足度は。また、今年度より準備に入った景観計画が市民の暮らしに与える効果と大館の未来予想図は。

〔市長〕 市民一人ひとりが故郷大館に誇りと自信を持って暮らす街にしたいとの思いで始めた歴史まちづくり事業であり、歴史的建造物の保存補修や道路の無電柱化などのハード事業に加え、ソフト事業も重層的に進めてきたところである。過日行った市民アンケートによると、ハード、ソフト事業ともに取り組んでいくべきが9割、まちづくりに参加したいとの回答が7割であり、シビックプライドの醸成に一定の効果があつたと受け止めている。今後は市内全域に景観計画を策定し、国の支援を受けながら、市民はもとより訪れた方々に「大館の街を歩いてみたい」と思われるような未来図を描いていく。

〈問〉 野遊びSDGs（五色湖プランピング）事業の将来予測は。この事業が市民に歓迎される事業となるためにも地域応援プランを活用するべき。国立公園と世界遺産に囲まれた北東北の拠点都市として、市民とともに取り組む「大館プランピングシティ」構想を検討してみてもどうか。

〔市長〕 野遊びSDGs事業は、野遊びを通じて持続可能な社会の実現に取り組みとともに、アウトドアという新たな価値を加え、本市に多くの観光客呼び込み、経済効果と地域の活性化につながることを目的としている。現在、ハード・ソフト両面で事業を進めており、完成後には市全域をフィールドと捉えたメニュー開発も検討している。提案のあった地域応援プラン活用は、これにつながるものと考えている。

〈問〉 全国の数ある開催地の中からグランプリ受賞したONSEN・ガストロノミーウォーキングと、来年開催予定のサイクリングイベントの今後の展望は。

〔市長〕 両イベントは、経済効果はもとより、市民や参加者の健康増進にもつなげ、市民が地域の魅力を再発見し育てていくことを目的としている。今後も継続開催する予定である。

一般質問の全文は、12月上旬に、市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

多発する懲戒処分と『市職員懲戒審査委員会』の処分の見直しについて

佐藤 芳忠 議員（市民の風）



〈問〉 ①懲戒処分の見直しについて市役所に勤めて二、三十年もたつべテランでも補助金の仕事ではミスを犯します。それほど補助金の仕事は難しいのです。ですから以前は、若い職員には間違えば重い責任を負う補助金の仕事はやらせませんでした。担当させた場合は若い職員に責任が及ばないように、上司が仕事をチェックし守り育てていました。

しかし今回は、管理職が職員の間違いをチェックできなかったため、3人の職員が懲戒処分を受けました。3人の仕事をチェックできなかった管理職にも同等の責任があり、処分を見直す必要があると考えます。

〔市長〕 現在チェック項目や手順の見直しの再確認を行っています。

〈問〉 ②総合病院の職員が過大な指示命令を圧力的な言動で行ったた

め、2人の部下が心身に不調を来し病気療養しています。一番の問題はパワハラを受けた職員が職場に復帰したとき、職場の環境や人員の配置等が前と同じであれば、また心身に不調を来すと考えます。市はパワハラを受けた職員を守るために、どのように対処するのかお伺いします。

〔市長〕 万難を排し対応はしません。ちなみに病院に戻ることはありませんので、ご安心いただきたい。処分された者は、専門性をもって仕事をするので、二度と加害行為をした人と会うことはない。そこまですべて考えて人事を行っている。

復職後も心のケアをしていきたい。

〔問〕 パワハラを受けた方が他の部署に行つて、やった方が残るといふのは、逆じゃないかと思えます。

〔市長〕 専門性があるから処分者にお願している。した者が残つて受けた者がほかの所。処分した者は罰を受けてもらいます。そして仕事をしてももらいます。そして被害を受けた方々にも別の所で活躍してもらいたいという配慮から、このような決断をしたことをご理解いただきたい。

保育士の配置基準の見直しについて

相馬 そうま エミ子 こ 議員 (市民の風)



成を行ってきた。国でも保育士の配置基準の見直しを検討しているため、今後も国の動向を注視しながら保育環境の充実と質の高い保育の提供に努めてまいりたい。

総合病院。パワハラ問題

〈問〉 日本総合研究所の調査によると個々の子どもに寄り添うことのできない保育士が40・5%にも上ることが分かったと報道されていた。実際には、現状の保育士数では足りないことから、保育士の負担が重く、子どもと十分向き合った保育ができる状況にないことが浮き彫りとなり問題になっている。本市における保育士の配置基準を満たしているのか、適正ではないとしたら配置基準を見直しするほか、保育士の配置の見直しや待遇改善はもろろん、研修制度を充実させるのはどうか。より良い保育のために、そして未来のある子どもたちのために市長の前向きな答弁を。

〔市長〕 保育士の配置基準は適正であると指導監査で確認されており、国の補助事業を活用しながら保育士の住居費や保育補助の雇用ほか業務効率化のためにICT化などへの助

〈問〉 病院の課長級職員を減給10分の1、2カ月の懲戒処分の新聞報道を見て目を疑った。市民の命と健康を守るはずの病院で、なぜこのようなパワハラ問題が起きるのか。市民からは緊張感が足りないのではないかと厳しい声が上がっているが、このような市民の声にどう応えるのか。そして、いま一度、病院の理念や基本方針について研修会などを開催し、職員の意識改革に努める必要がある。患者さんの安心と満足が得られる医療を目指し、綱紀粛正に努めていただくよう強く願う。

〔病院事業管理者〕 パワハラにより職員2人が療養を余儀なくされたことは重く受け止めている。ハラスメントは、個人の尊厳や人格を不当に傷つけ社会的にも許されない行為であり、職場においても職員一人ひとりが意識を高め、服務規律を順守し、職務に取り組んでいく。

一般質問

大館市議会

検索

クリック

さまざまな差別の解消について

岩本 いわもと 裕司 ゆうじ 議員 (市民の風)



管理職のサービス残業の実態を把握し対策する必要があるが、現状と対策はどうか。また、意思疎通の取れた職場環境をつくり理想の職場を目指すべきであるが考えは。

〈問〉 大館市に存在する、外国人に対する差別をはじめとしたさまざまな差別をどのようにしたらなくすることができるのか。人権や人格・多様性の尊重と共生社会の実現できる大館市を創る行動を起こすべきであるが。

〔市長〕 ご指摘のような事案が事実であれば誠に残念である。国籍、年齢、性別、障害の有無などに関わらず、誰もが互いを認め合い、尊重し、多様性を受容する社会づくりに取り組むべく次期総合計画に大きな方向性として盛り込んでいく。

市職員の働き方について

〈問〉 総合病院の職員が能力を超えた業務指示で休職に追い込まれた事案から、職員の働き方を検証し、再発しないよう対策するべきであり、

〔市長〕 対面での出勤確認、休暇の取得や時間外の状態、ストレスチェックの結果、人事評価における育成面談及び人員配置ヒアリングなどを通じて、個人の状況の把握に努めている。管理職の時間外勤務などの把握に努めているほか、週休日の勤務には、振替休日の取得を指導している。しかしながら、実際にメンタルに不調を来す職員がいることから、健康相談やメンタルヘルズ相談を毎月開催し早期発見に努めているが、相談者の利用が少ない状況からより相談しやすい環境を整え早期に対策できる体制をつくっていく。職員が意欲をもって職務に取り組み、能力を十分に発揮するため、職場内での良好なコミュニケーションの推進をはじめ、時代に即した働き方を推進し、時間外勤務の削減や、適切な休暇の取得を推進し、誰もが働きやすい職場環境をつくっていく。

町内会役員等の担い手不足と、これからの町内会活動の在り方について

柳館 晃 議員（真政会）



〈問〉 今年6月、美園町内会が会長役員等の後継者が見つからないという理由で町内会自体が解散してしまったが、他の町内会も役員等の高齢化が進み、同じような問題を抱えている。町内会の主な活動は、クリーンアップ、ゴミ集積場の維持管理、街灯の設置・管理、防災、交通安全対策、除雪、道路の管理、広報活動、支え合い支援等、多岐にわたっている。また、町内会長の職務には、民生委員、児童委員、行政協力員、福祉委員の推薦がある。町内会が解散してしまった場合、これらの町内会活動は、誰がするのか。また、町内会長が行っている民生委員等の推薦はどうなっているのか。これらの各種委員の空白地帯になってしまうのか。先般社会福祉協議会が

行ったアンケートでは、町内会が任意団体であっても市が関与、支援するほうが望ましいとの回答が約7割を占めたが、これらの諸課題への対応について、市長の考えはどうか。

〔市長〕 町内会は地域住民が運営する自治組織であり、任意団体ではあるが、各種事業における実施主体となっているほか、民生委員、児童委員、行政協力委員等の人選に協力いただくなど、市・県・国ともさまざまな関わりを持ち、重要な役割を担っていたにいたっている。一方、町内会の運営には、役員や活動に関わる担い手不足をはじめ、さまざまな課題があることを認識している。担い手不足などは、他の町内会でも同様に抱える喫緊の課題である。人口減少が進む中、町内会を継続的に運営していただくためにはどういった方策があるのか、関係者や地域の方々から実情や意見をお聞きするとともに、他自治体の例も参考としながら検討していく。

一般質問の全文は、12月上旬に、市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

健康診断の受診率向上の効果的な施策・啓発の実施について 高度医療提供のため専門的な人材確保を

伊藤 深雪 議員（公明党）



〈問〉 健診（検診）を受けない理由を分析して対策を。イメージキャラクターの活用で啓発を講ずるべき。

〔市長〕 がん検診を受けない理由に「忙しく都合がつかない」「費用がかかる」などがあることから、WEB申し込み、休日検診、費用助成、電話での呼び掛けを行い、令和3年度は増加傾向にある。イメージキャラクターについては、これまで通り「はちくん」を活用し啓発していく。

〈問〉 骨折や寝たきりなどの介護予防のため骨粗鬆症検診の実施を。

〔市長〕 平均寿命から健康寿命を引いた「不健康な期間」は女性が男性の1.7倍となっており、骨粗鬆症による骨折などが原因で要介護状態になる女性が多いと分析している。「第3次健康おおだて21」の取り組みの一環として骨粗鬆症検診の実施を検討していく。

〈問〉 認知症の早期発見・早期治療のためスクリーニングによる検診を。

〔市長〕 「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」に基づき、今後策定される国の基本計画を踏まえ、医師会など関係機関に相談しながら、認知症の早期発見・早期診断および早期対応に向けた取り組みを進めていく中で検討する。

〈問〉 医療が高度化・専門化するに従い、医療と福祉・介護の連携を強化し質の高い医療の提供が重要。医療スタッフが医療に専念し質の高い医療を提供できるようにするためにも、介護のスタッフの中心となる介護福祉士などの有資格者の人材が必要ではないか。

〔病院事業管理者〕 現在の総合病院の看護補助者に専門の有資格者はおらず、介護職員の成り手も少ない。そのため、看護師が介護業務を代替せざるを得ない状況もおきており、人材確保が今後必要と考えている。入院患者が高齢化する中で、有資格者の看護補助者を配置することは専門的な介護サービス提供のためにも望ましいことだが、採用条件・待遇などの見直しが必要であり、今後検討していく。

今後の大館市の医療環境・扇田病院の位置づけについて

かねや まゆみ
議員（市民の風）



〈問〉 医療Maas、遠隔ロボツトを導入し市民が遠隔操作医療の享受ができるまで、どのくらいの期間を要するのか。

〔病院事業管理者〕 導入に当たっては、先進的な医療機器であることから財政的な制約がある。人口と患者の減少がさらに進む中で医療DXの活用と医療資源の集約化は避けて通れないもの。医療圏における中核病院として、高度医療提供のための整備を検討する。

〈問〉 療養期、回復期リハビリテーション病棟として扇田病院の病床の維持を望む。

〔病院事業管理者〕 回復期リハビ

リテーション病床機能については秋田労災病院、大湯リハビリ温泉病院で一定数以上の病床が確保されている。将来人口と患者数の減少が見込まれる中、扇田病院が担っている現状の慢性期医療の役割を、官民連携による各種推計データと併せて検討している。

ふるさと納税について

〈問〉 寄付者の方々が特に指定をしないふるさと応援寄付金は、市長が必要と認める事業に使用との項目もある。扇田病院、総合病院の精神科病棟の改修・修繕の必要性が高いと思うが。

〔市長〕 ふるさと納税については、寄付額の半分は返礼品や経費に充てられている。病院施設の改修・修繕については公立病院経営強化プランにより必要度合いや規模が定まった段階での財源で対応する。

常任委員会から

大館市議会

検索

クリック

行政視察

大館市議会には4つの常任委員会があり、それぞれが所管する議案等の審査に当たっています。ここでは、今年度行った委員会の行政視察の概要をお知らせします。なお、建設水道常任委員会の行政視察は台風のため中止となりました。

総務財政常任委員

令和5年7月31日～8月2日

ふるさと納税について
（北海道 白糠町）

ふるさと納税寄付金額全国4位の白糠町を訪れ、寄付金を集めるためのプロモーションや返礼品開発の取り組み等について説明を受けた。返礼品は町を発信する重要なツールでもあり、ふるさと納税制度の趣旨を踏まえながら、産業の振興や経済の活性化等につなげていく取り組みは、多くのことが参考になるものであった。

根室市総合計画について
（北海道 根室市）

根室市から、総合計画における地域資源を生かしたまちづくりについて説明を受けた。大館市では現在、令和6年度からの次期総合計画の策定に取り組んでいるが、人口減少を見据えたまちづくりや、市の持続的発展のため各政策目標にSDGsの理念を取り入れる考えなど、本市でも参考になるものであった。



白糠町にて



根室市にて

常任委員会から

行政視察

～先進地の取り組みを視察してきました～

厚生常任委員

○令和5年7月31日～8月2日

小田原市立病院
病院経営改革プランの
取組と成果について
(神奈川県 小田原市)



小田原市にて

小田原市立病院は、神奈川県西二次医療圏における唯一の救急救命センターとして三次急患も担っている病院である。コンサルティング会社の支援による中期経営計画策定を皮切りに、2年間で医業収支の大幅増を達成。持続可能な地域医療体制を確保するために作成している病院経営改革プランの内容と経営改善までの道のり、医療連携・多職種連携の状況など病院経営に関するさまざまな取り組みについて説明を受けたが、本市の施策にも大いに参考になるものであった。

健康・予防日本一
ふじえだプロジェクト
について
(静岡県 藤枝市)



藤枝市にて

静岡県藤枝市は「めざそう！健康・予防日本一」を目標に掲げ、健康に関する数々の先進的施策に取り組んでいる自治体である。特定健診率、がん検診受診率ともに全国トップクラスであり、健康寿命の延伸を目指し、市民、事業者、行政が一体となって市全体で健康都市のまちづくりを推進している体制や、歩く生活習慣から健康を目指す施策などさまざまな取り組みについて説明を受けたが、本市にも大いに参考になるものであった。

教育産業常任委員

○令和5年7月25日～27日

野遊びSDGs事業に
ついて
(三重県 いなべ市)



いなべ市にて

いなべ市では、新たな交流人口、定住人口拡大につながる取り組みとして、令和2年度から野遊び推進事業を国の交付金を受けて進めている。この事業では、市内の山麓をグランピング拠点に野遊びなどを体験していただきながら、地元の農産物等を生かした至高な料理を提供するなど、ほかでは体験できないコンテンツを計画している。

部活動の地域移行に
ついて
(岐阜県 羽島市)



羽島市にて

羽島市では、生徒が継続して質の高い部活動の指導が受けられること、教員の働き方改革を図るために、休日における部活動の地域移行を地元の総合型地域スポーツクラブとの連携により行っている。この取り組みでは、希望する生徒のみが休日の部活動に参加しながら引き続き学校の部活動としてできるようにしているほか、市民の方にスポーツクラブの指導者として登録いただきながら指導に当たっており、事業を通じて生徒の運動への参加意欲の向上や市民の地域のスポーツ活動の活性化につながっている。

令和4年度決算特別委員会

1. 令和4年度一般・特別会計決算

特別委員会を設置し、9月20日、21日、22日に審査を行いました。

一般・特別会計決算特別委員会の構成

(◎印 委員長 ○印 副委員長)

◎日景 賢悟 (真政会)	○田村 秀雄 (真政会)
吉田勇一郎 (令和会)	花岡 有一 (令和会)
秋元 貞一 (令和会)	佐々木公司 (令和会)
伊藤 深雪 (公明党)	石田 健佑 (真政会)
花田 強 (市民の風)	岩本 裕司 (市民の風)
相馬エミ子 (市民の風)	佐藤 芳忠 (市民の風)



審査の様子

令和4年度大館市一般会計及び特別会計の歳入歳出決算 … 認定

2. 令和4年度企業会計決算

特別委員会を設置し、9月25日、26日に審査を行いました。

企業会計決算特別委員会の構成

(◎印 委員長 ○印 副委員長)

◎柳館 晃 (真政会)	○田村 儀光 (真政会)
菅原 喜博 (令和会)	田中耕太郎 (令和会)
藤原 明 (令和会)	伊藤 毅 (令和会)
今泉まき子 (日本共産党)	小畑 新一 (公明党)
金谷 真弓 (市民の風)	工藤 賢一 (市民の風)
明石 宏康 (市民の風)	



審査の様子

令和4年度大館市各企業会計の歳入歳出決算 … 認定

私もひ・と・こ・じ・と 第51回

伊藤 励

励さん (柄沢)



人口減少と真剣に 向き合い考える今

現在大館市の人口は約6万7000人ですが、2005年大館市が旧比内・田代町と合併する前は、大館市だけでも約6万6000人いました。合併から18年たち、現状と合併当時の人口を比べると、旧比内・田代町2つ町分の人口が減少していることとなります。

私自身、前職では仕事柄東京で多くの企業が、機械・ロボット化されている実例を多く見ていたため、大館市の人口減少も何とかかなると安易に思っておりません。

ですが、大館市にUターンし、その考えは覆りました。大館市内製造業等、人の力で成長し続けた企業が多くあり、その技術の継承には時間がかかり、高齢化から見ても次の世代への引き継ぎの難しさを痛感しております。これらの仕事は、機械・ロボット化できないような仕事で、できたとしても莫大な費用が発生します。仕事があるのに、人手不足で仕事ができない。最悪のケースは、この人手不足を解消できないまま業種限らず、近い将来倒産していくのではないのでしょうか。人口の減少により、大館市内で私たちが大切にしている場所やお祭り、インフラなどを維持することがますます難しくなっています。

現在私が大館市でできる微力ながらの活動として、若手世代を対象とした異業種交流会を開催しております。若手世代の異業種の意見交換も大切にすると同時に、「大館市に就職したい」、「安心してUターンできる」

現在28歳 東京で7年間
FA&ロボット専門商社
で働いた後、2020年
から比内時計工業株式会
社総務課に勤務

と思ってもらえるような場になればと考えております。

人口減少はさまざまな要因があると思いますが、日本の少子化や晩婚化は、SNS等情報が早いこの時代、育児費用・老後資金等、若い世代が自分の将来について真剣に考え向き合っている証しとも捉えております。全国的に見ても人口減少にあります。全国的に見ても人口減少にありますが、兵庫県明石市や福岡県糸島市等は、独自の政策で人口増加傾向にあります。東京都も9月より子ども一人当たり月額5000円支給が始まり、県外流出も加速していくと思われれます。

最後に、全国で1番最初に消滅すると言われている秋田県のこの流れを、ここ大館市から変える政策を心より願っております。

「私もひ・と・こ・じ」のコーナーでは、みなさんからの「なまの声」を募集しています。また、表紙の写真についても募集しています。

議会事務局までご連絡ください。

「おおだて市議会だより149号
(令和5年8月1日号)」の訂正
とお詫び」

おおだて市議会だより149号において、間違った表記がありました。

つきましては、左記のとおり訂正させていただきますとともに、関係者の皆さまにご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

3ページ (誤) 石垣博隆(令和会)
(正) 石垣博隆(真政会)

編集後記

今期の議会報委員は全員が新人議員です。

新人さんながら新しいものに挑戦しようとして、これまでの議会報の内容について、「より議会を身近に感じてもらう」「読みやすい・見やすいものにして」と何度も話し合い検討しています。

そして、本号からUD(ユニバーサルデザイン)フォントを取り入れ、見やすく読み間違えのないような書体になっています。



不易流行の考え方で、対話型AI(チャットGPT)も活用しながら、異常気象に異常に汗する日々です。

(伊藤 深雪 記)